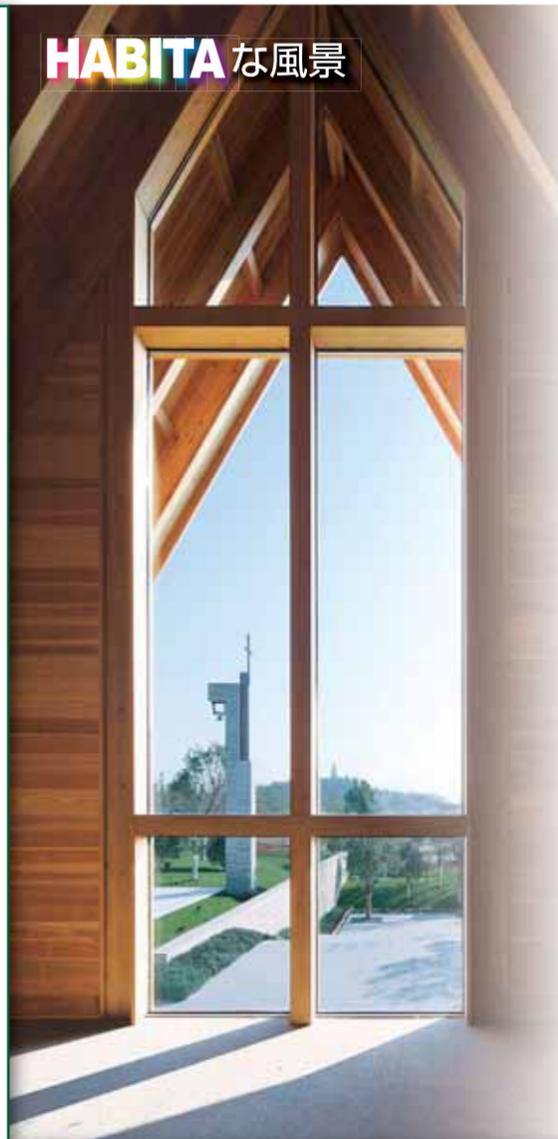


2011.4.1

Contents

杭州教会が完成

- HABITAな風景
- 住まいは巢まい
- キニナルマドリ
- 住まいのオーダーメイド館403
- 住まい文化の栞
- 住健住康
- Green Earth
- わたしたちのHABITA
- 豆ハビ
- 5th ROOM



HABITAな風景

待ち時間

大きな十字架の窓から見える、続々と集まってくる人たち。

この待ち時間は、花嫁の親しか味わえない、なんとも不思議な時間。教会の鐘は、感謝と喜びを天にいる神様に知らせるため。だから鐘はいつも高い位置にあると聞いた。遠くにいる親族や参加できなかった人にも届くようにという意味もある。神父さんも、耳を傾けている。

花嫁姿は和装を期待していたけど、こんなに木の匂いがある教会だったら、悪くないかもしれない。あの子の生まれて育った、我が家の匂いにも似ている。

三澤 千代治の

住まいは巢まい

ファクター10

環境学者の山本良一東大教授によると、地球があと何年もつかを考えた場合、地球資源をすでに7割使い果たしており、残りの3割でいかに生きるかを考えなければならない危機的な状況にあると言います。

新幹線で東京を人類誕生の起点にし、新大阪を人類滅亡の終点考えると、私は浜松あたりかと思ったのですが、もう京都駅までできているそうです。

本当に恐ろしくなりますが、これをいかに食い止め、持続的発展が可能な経済社会をつくるかが、人類の英知ということになります。

簡単に言えば、いかに資源を使わないで生きのびるか、ということになるのですが、その具体的な目標に「ファクター10」というのがあります。これは持続可能な経済社会を実現するのは今後50年のうちに資源利用を現在の半分にする必要があります。そのためには、先進国においては資源生産性を10倍向上させることが大切という主張です。ドイツのブッパータル研究所が提起したもので、いまでは欧米、日本等の研究者、政治家、経営者らで「ファクター10クラブ」を結成しています。

HABITAは、26年といわれる日本の住宅の寿命を200年にすることを目標に、開発と普及を目指してきました。さらに、事業活動における環境効率を向上させよう努めています。

(MISAWA・international 社長)

Weekly HABITA 048

杭州教会が完成

2010年に建設が進められた中国杭州の教会が竣工を迎え、クリスマス日に祝賀が行われました。日本の木造技術によって建設された建築物は、日本と中国の2000年以上の交流史の一部でもあります。公園全体の造園工事も完成した、その全貌を写真とともにご紹介します。

杭州教会は、人口3~4万人が住む街づくりの一画に建設されました。教会ではありますが、街の中のコミュニティ施設としての役割も担います。大きな礼拝堂を核にして、小礼拝堂や回廊と他の共用空間で構成されています。大礼拝堂と回廊に、日本の木材はもとより、木造建築の考え方から工場生産の技術、さらには職人の手による施工技術が日本から届けられ竣工にいたりしました。

建設規模は、敷地4500㎡の中に、大礼拝堂だけでも380㎡。関連施設を含めると約800㎡。建築主は中国最大のデベロッパーである万科企業有限公司。会長の王石氏は日本とも深い交流を持ち、木材がそのまま生かされている日本の住文化にも深い理解があることから実現にいたりしました。

建設にあたって最初のハードルは、

建築許可です。中国の木造建築物は、北米の木造設計建築基準を手本に『国家基準木構造設計基準』があるものの実績は少なく、ましてや合掌造りの基準はありません。さらに施工図の習慣も違えば、基礎のアンカーボルト

も考え方から伝えなければなりません。

また基本的には耐火の規制があり、木造で建設することは難しく、燃えしろの考え方から構造計算まで日本の基準を元にして、審査をクリアする必要がありました。また木造のプレカット技術や金物接合についても、初めての事例として建設されることになりました。幾多の工業製品の生産技術は、既に中国への輸出が進められています。しかし工業化された住宅などの建築の実例はあっても、現場の高等な作業を必要とする木造建築物がこうして中国で建てられることは、珍しいことです。





アプローチの階段のラインが天まで続く。



ビルにも住居にも見えない重々しさ。



インテリアは木の匂いがしてくる。

木造技術と中国の交流史

丘の上に立つできあがったばかりの教会は、遠目に見ても荘厳なイメージがする。建物に近づいてゆく道すがらに真横から眺めると、中には何があるのかすら想像もつかない。いかにも地面から直接屋根が生えているかのようにも見える。

正面に回ると正三角形のフォルムだけが見え、その不可思議さがたどり着くまでの期待感を盛り上げてくれる。なるほど、地域のモニュメントになる建物と言うのは一種異なる力を持っている必要があるのだと考えさせられる。

エントランスに近づくと、大きなガラス面が見える。これを抜けて中に入ると一転して、連続した垂木の流れが空間の最大のエッセンスとなっている。12mの尺梁が合掌して並んでいる姿を、荘厳と言わずして何と云うのだろうか。また、中国を旅する中でも、この空間に入った瞬間に味わう、天然の木の香りというのは誰でもがショックを感じるに違いない。この中

国杭州に建つ大礼拝堂は、日本の木の代表でもある南九州の鉄杉でできている。

日本と中国には2000年以上の交流の歴史があり、同じように建設の協力は行われてきた。四天王寺や法隆寺でも、1400年ほど前に中国からの技術者がわざわざ日本にやってきて手ほどきをしている。

法隆寺の改修の際に、亡くなった職人たちが書いた落書きが多数見つかった。今回、進められてきた工事の中でも、職人以上に通訳の1人が、率先して高いところにも登りハンマーを振るっていたという。おそらく、法隆寺でも同じような風景が見られたに違いない。

その落書きで有名なのは、台座裏に書かれた文字である。

『相見了陵面未識心陵了時者』

現代の日本語で読んでも、中国語で読んでも、すぐには意味が通じないという。しかし、こうして現場に携わった

職人の気持ちで読み解けば、なんとなく当時の苦勞が解かる気がする。

「了」は「了解」の意味であり、「陵」は中国の「菱」や「稜」のように「角」と考える。「心」は「芯」と考えれば、それこそ職人が日常的に使っている言葉である。大意としては、「互いに会って、角と面の使い方は解かっていました。しかし、芯と角の使い方は知りませんでした。今はその知る時を得ました。」とでもなるうか。

法隆寺には回廊に何本もの柱が立っている。通り芯を打ち、予め削りだした柱を並べてゆけば、効率が良く正確な施工ができる。それを考えれば、1400年も前に中国から、言わばプレカットの技術を教わっていたのである。

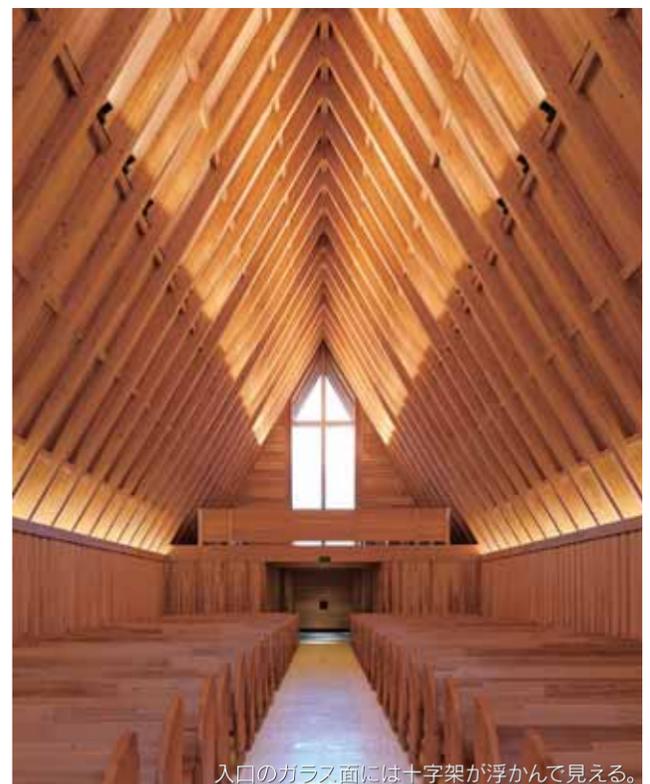
現代ではその工業化されたプレカットの技術は、むしろ日本が世界に先んじている。これまでは教えられる一方であった中国に対して、少しでも木造建築の世界で、こうして日本から伝えられることができたのである。まさに1000年を超えた恩返しである。



礼拝の気持ちを盛り上げてくれる。



木柱の連なりが回廊の雰囲気をつくる。



入口のガラス面には十字架が浮かんで見える。

キニナルマドリ



1階 16.5坪

2階 16.5坪

基本に忠実に…

間口3間の中心に棟を置き、棟持ちの柱を奥行きにほぼ等分して配置してある。骨組みの組み合わせは理想であり、水周りを中央にまとめることも含め、まさに基本に忠実である。

それでいて空間に貧しさを感じさせない。玄関は、昼に家の中からも、夜に外から見ても、1枚のガラスの向こうへの誘いとして気持ちを高めてくれる。



HABITA徳島・アズマ建設



住まいのオーダーメイド館

ハサミで切れる岩 スレートライト

ドイツの特許技術によって製造されたスレートライトは岩肌をそのまま薄く剥がし、シート状にした驚異の技術製品です。これまでの石材製品は岩をス

ライスした、およそ20mm厚のものが主流でした。石材1㎡からの生産量を比べてみると約50倍も多く生産できます。スレートライトの製造技術では約2000㎡が生産できる計算になります。

また重量は約1.5kg/㎡と軽いため、既存の石材製品と比べ、輸送コストの大幅な削減になります。

さらに、はさみで切れる、曲がる、釘打ちできる、接着剤による簡単施工が

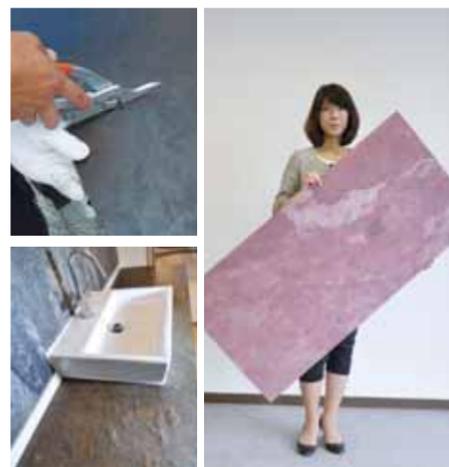
できるなど、使用範囲がひろがります。地球の創生により生まれた様々な岩石の素材をそのまま意匠として使えるため、その色や質感は人為的なデザインとは一線を画しています。

薄さ:1.2~1.8mm 重さ:約1.5kg/㎡
403掲載商品No. G-0068_035

住まいのオーダーメイド館 403
東京都新宿区新宿1-2-1-1F
<http://order403.com/>

403

検索



住まい文化の栞

伝来から日本流への変化

いにしへの昔から、多くの技術や文化が中国から伝えられました。遠く、インドから中国を通じて伝えられたのが仏教です。中でも樹木に関する話は、その国々で生長している樹木も違い、国なりの扱い方があります。

『平家物語』で詠われる沙羅双樹の木は、本物のフタバガキ科サラノキとは全く別物で、日本ではツバキ科のナツツバキを呼びます。同様に菩提樹もインドのクワ科の木ではなく、菩提樹がなかった中国でシナノキ科の木とされたまま日本に伝わってきました。つまり、日本人のイメージする菩提樹とはまったく違う枝葉の風景の中で、釈迦は悟りを開いたのです。

似たようなことは、木像の歴史の中でも起こります。中国から伝わった木像の多くは広葉樹系の木像であるのに対して、日本では印象の似た木を探しながら最終的にはヒノキに収束してゆきます。



写真は墨沙門天

たとえば唐招提寺に残されている仏像で、他所から持って来たときされる梵天・帝釈天の二尊の像は、帝釈天がサクラで、梵天はチャンチンと云う材で、できているそうです。このチャンチンは香椿と書き、若葉を香料料にするような中国原産の材で中国では建築にも使われています。このセンダン科のチャンチンに似た材として、日本ではオウチが使われ、次にケヤキが使われるようになってきました。

しかし時代が下ると、こうした材の補修にも日本ではヒノキが使われます。それは日本人の感性には、広葉樹よりも針葉樹の木肌の方が好まれていたからだと思われれます。木像は信仰の対象ですから、安易に変化するものではありません。そのため長い年月をかけて変化をしてきたものでしょう。似た材を選ぶ努力から、感性に合う材を使うという変化は、それなりの時間がかかれたとは言え、まさに劇的です。信仰以上に、私たち日本人には針葉樹に対する相性があるということです。

住 健 住 康

じゅうけんじゅうこう

適度な緊張感が若返りの秘訣

歳をとると、1日中家で過ごすことが多くなり、なかなか力強い格好で外出する機会も減ってしまいます。必然的に普段着の生活が多くなり、緊張感を感じないまま過ごしていると、脳が活性化されなくなってしまう。

そこで、たまには高級レストランへ連れ出してみよう。それも、ばつちりとおしゃれをして。とりわけ男性の場合、外出の有無もさることながら、食事に関しても、毎日同じようなもので満足しがちです。だからこそ、普段とは違う体験をすることで、脳への新刺激が得られるのです。

歳をとると、前日に何を食べたのか記憶があいまいになってしまうことがあります。しかし、高級レストランでおいしい食事をしたことは、記憶にしっかり残るものです。このような差が生まれる理由は、感情を動かすような強い刺激があったかどうかです。

例えば、格安の立ち食いソバを真剣に味わうことはあまりないでしょう。ところが、1万円のコース料理を頼んだら、どんな食材でどのように作った

か、といったことを考えつつ真剣に味わうはず。また、せっかとおしゃれをして出かけたので、食事だけでなく、他のお客さんや、お店の雰囲気などさまざまなところに目がいくでしょう。

こうして、ただ食べるだけでなく、おいしいと思ったり、どうしても疑問を抱いたりすることのひとつひとつが脳への刺激となり記憶として残っていく要因となるのです。

人間は、交感神経が優位となる緊張状態と、副交感神経が優位なリラックス状態がバランスよく働くことにより、快適な生活を送ることができます。あまりに緊張、興奮しすぎは体によくありませんが、かといってそれが著しく欠けた生活というのも、脳への新しい刺激が無くなってしまい、良いものではありません。

毎日の家でのリラックスできる食事と、緊張感をもたせる外食。このバランスが気持ちの面で若さを保ち、健康にも良い効果があるのです。



アンケートにお答えいただいた方に

お部屋のレイアウトやインテリアのコーディネートに役立つ、「HABITA ドットシート」を20名様にプレゼント!

プランづくりに挑戦!



HABITA ドットシートとはこのシート上に実寸の1/100の縮尺で間取り図(プラン)を描いていただき、お持ちの家具の寸法をはかって手描きで配置ができます。購入予定の家具を自由にレイアウトしたり、間取りを考えたりと、新しい家づくりに役立ちます。

応募方法 官製ハガキに(1)住所・氏名・電話番号(2)年齢(3)職業(4)性別(5)本誌以外の購読誌(6)今までのおもしろかった記事とその理由(7)その他特集してほしい記事や内容など、以上をご記入いただき、下記係までご応募ください。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。〒163-0704 東京都新宿区西新宿2-7-1 MISAWA・international株式会社 「WeeklyHABITA プレゼント係」

Green Earth

排出取引

今回は、地球温暖化の解決策の一つとして導入されている「排出取引」についてです。これは、国家や企業に温室効果ガスの排出枠を定め、排出枠が余った国や企業と、排出枠を超えて排出してしまった国や企業との間で取引する制度です。京都議定書の第17条に規定されており、温室効果ガスの削減を補完する京都メカニズムの一つです。

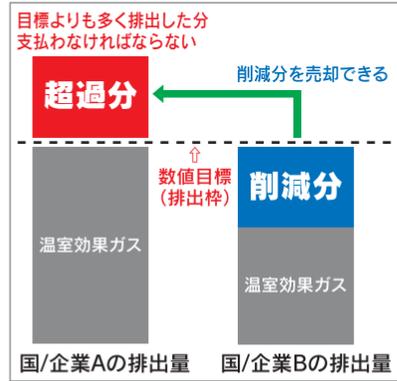
排出取引制度が導入された背景には、温室効果ガスの排出量を一定量削減するための費用が、国や産業種別によって違いがあることが挙げられます。例えば、未発達技術を用いて経済活動をしている開発途上国では、すでに先進国で使われている技術を導入すれば温室効果ガスを削減できるので比較的小さい費用で済みます。一方で、これまでに環境負荷を低減するために努力してきた先進国で、さらに温室効果ガスを削減するためには、新しい技術やシステムを実用化する必要があり、多大な投資や労力が必要となります。

日本では、自主参加型国内排出取引制度が試中で、本格的な国内市場の創設が検討されています。

排出量の売買では、その価格が

取引量を左右し、温室効果ガスの削減量を左右することになります。世界全体での排出取引の市場規模は、2007年時点で約400億ユーロ（約6兆円）前後で、急激な拡大を見せており、今後も拡大は続く予想されています。取引総量は27億トンで、これも急激に増加しています。

取引に伴う排出量価格の上昇は、排出量売却による利益の増大を意味するため、排出削減を促進する働きがあります。これからもHABITAは、地球環境問題の動向に注目していきます。



自然と生きる家

SORA・MADOの中庭からはちらほら雪が舞い散っている。目の前には宍道湖が広がるロケーション。

島根県の提携企業KENSOさんが施工されたお客様宅を訪れた。



SORA・MADOに決めた理由は、光をふんだんに取り込めること、夜も暗い空をゆっくり眺められること。雪が降っている様子を眺めているだけで不思議と自然の中で生きていることを感じる事が出来るという。

「冬はやはり寒いし、夏は暑い。しかし、冬の寒さは一般的なフローリングの床で味わう底冷えがするような寒さではないし、夏の暑さもマンションで味わう蒸し風呂のような暑さではありません。冬は身の引き締まる寒さ、夏は蝉の音がよく似合う暑さ、つまりその季節

本来がもっている寒さ暑さを感じるのだと思います。そもそも、自然体で暮らすことが私たちの考えだったので、寒さも暑さについても不満は一切ありません。これからSORA・MADOを検討される方も、コンセプトを十分理解していただけたら、充分過ごしやすい家だと思います。」

住まいづくりにちょっと役立つドキュメントTV

HABITA/TV

HABITA/TV 検索

詳しい内容は、HABITA/TVの4ch、「KENSO お客様インタビュー」で紹介しています。

豆ハビ

木の家は耳にやさしい

ピアノ、ギター、バイオリン……。よく考えてみると楽器は木でできていることが多い。なんで木が使われることが多いんだろう？それは、木が音楽を奏でるのに、とっても適しているからなんだ。音楽ホールの内装も木でできていることが多いのも、こういう理由からなんだ。木には音をまろやかにして、心地よい響きにする効果があるんだね。家の内装に木を使うのが実は、いいね。声や音を心地よい響きに変えてくれるかな。

スペースに花を植えたり、オーストラリアなどは敷地の真ん中に家を置きます。東西南北360度のすべてにスペースを作るのです。もちろん、日陰にも植物を植えます。

この日陰の植物としてよく植え



5th Room

日本の植物

海外では、街をあげてガーデンフェスティバルを開催し、一般家庭の庭づくり品評を競うコンテストを行うところがあり、日本人のガーデンファンの憧れにもなっています。このように、街並みや、個人の庭園が美しく飾られたイングリッシュガーデンのすばらしさに日本人は感動します。しかし今、世界中が日本の庭や花に魅せられているのです。

例えば、今の日本はさまざまな住宅事情のせいもあって、家屋を敷地内の一方に寄せて空いている

人も庭師としていたそうです。アメリカの歴史を調べてみると、「寄せ植え」は日本からカリフォルニアに移民として渡った女性とその娘たちが、50年ほど前に広げていったものらしく、それは彼女たちが身につけ受け継いでいた「生け花」の文化が元になっています。冬でも枯れない植物として、日本風のカエデやヤツデやグミを使って、部屋の中でもよく保つエバーグリーンの寄せ植えから始めたことがきっかけになっていると考えられています。

日本は世界から見ても多くの植生を持ち、修景も誇れる美しい国です。家の住まい方や仕組みが電機じかけのモノに囲まれるより、もっと先に大事に考えないといけない自然の取り込み方があるのではないのでしょうか。

Takasho

「ポーチガーデン®」 家と庭をつなぐ、もう一つの部屋。

詳しくはホームページへ! 検索



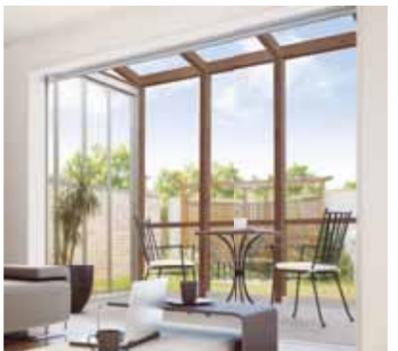
折戸パネル仕様で、フルオープンにすれば開放的なガーデンルームに。



ライティングをプラスして、夜でも快適なつるぎの空間をつくれます。



屋外で気軽に家族団らんが楽しめるもう一つのリビングとして。



Following the living room, dining room, kitchen, and bed room, the "5th room" is the setting for a new happy lifestyle.

5th ROOM

L+D+K+B & G (5室目の部屋)

